

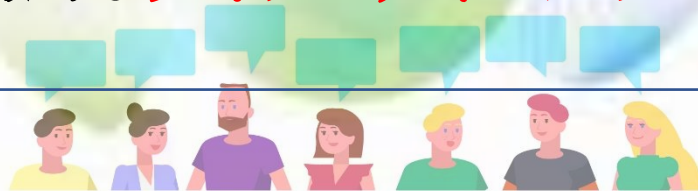
2022年度 日本語教育学会春季大会
一般公開プログラム(オンライン開催)

日本語から広がる ライフキャリア形成

—世界を、日本語と生きる—

国内・海外各地で日本語を生かして活躍する外国人による

刺激的な **ライブ・ディスカッション**



日本語教育学会は、「人をつなぎ、社会をつくる」ことを使命とする学会です。このプログラムでは、アジア・ヨーロッパほかからの登壇者ひとりひとりが、どのような思いで日本語を学び、習得し、人生のステージ、ライフキャリアにどのように生かし、日本語とともに生きているか、各地から生の声で語ります。参加者の皆さんは、日本語と日本語教育が世界の人々とその人生、社会といかに広く深く関わり、つながり得るのか、豊かな可能性を目の当たりにするでしょう。

2022年5月21日(土)
10:00~12:00
(無料・事前申し込み不要)

どなたでも参加できます！
(Zoom ウェビナー使用)

登壇者 (50音順)



●イスウォロ・アグネスティラルシーさん【インドネシア】

現在、千葉県内の介護老人保健施設で看護師として勤務。日本でも看護師として働くことを決意し、半年間ジャカルタで日本語を学習後、経済連携協定(EPA)プログラムで来日。3年目に准看護師試験に、4年目に正看護師試験に合格。人の命を預かる仕事なので、日本語でしっかりコミュニケーションを取らねばならないと考える毎日。



●チャダ・アディティさん【インド】

生まれも育ちもデリー。現在は商業都市ムンバイに在住。デリー大学での専攻は英文学だったが、日本語に目覚めて来日、日本語学校で初級から学び、各地のスピーチ大会に出場。日本のIT会社に勤務ののち帰国し、現在は日系企業で通訳と翻訳を中心に活動。日本語の擬音語・擬態語と、3種類の文字のもつ多様性で伝わるニュアンスが好き。



●トランボエフ・ウミドジョンさん【ウズベキスタン】

首都タシケントから電車で5時間、果物で有名なナマンガン市出身の25歳。大学で日本語を学び、日本文化に興味を持ち、筑波大学に1年間留学。柔道の国際大会において、ウズベキスタンナショナルチーム日本人監督の通訳を担当。現在は名古屋大学ウズベキスタン事務所にて留学関連業務に携わる。合気道初段。日本語で好きな言葉は「希望」。



●ポーンピルン・キットソムジェートさん【タイ】

バンコクで日本の近代小説を扱う出版社を経営。太宰治、坂口安吾、夏目漱石らの作品のタイ語への翻訳、出版・販売を行う。大学で日本語を学習後、日本語・日本文化研修生として筑波大学に留学し、修士課程でも学び続ける。今後も日本近代文学の魅力をタイの読者に広く発信していきたいと考えている。(写真はタイ語版『斜陽』の表紙)



●グレコ・ジュリアさん【イタリア】

大学で日本語を専攻後、来日し日本語学校でブラッシュアップ。1年以上の在籍の間は、無遅刻無欠席。英語、スペイン語も駆使して世界中からの観光客向けにフリーランスでツアーガイドを行ったほか、ユーチューバーと日本でポケモンツアーを実施。帰国後も学習を継続、現在はイタリア人向け日本語教育に関わる。コロナ禍収束後は再来日を熱望。



●ベリフ・メスフィンさん【エチオピア】

現在、東北大学大学院医学系に在籍。日本の仕事の風習、礼儀正しさ、最先端の技術などに大きく感動し、日本の文化や言語に興味を持つ。現地の大学医学部に在籍時に日本語を学習。卒業後、日本語の資料の翻訳者、通訳者として勤務。観光地で日本人観光客を相手に通訳を担い、友人を作ったことが大きな財産と自信になり、今に至る。

司会者



●丸山陽子氏

NHKでテレビやラジオのニュース、情報番組を担当し、現在はフリーアナウンサーとして学会、シンポジウム等で司会を行う。2017年、日本語教員資格を取得後、神戸大学大学院で幅広い学習者に日本語を指導。神戸大学キャリアセンター所属日本語教員、神戸日仏協会講師。

主催：公益社団法人日本語教育学会 企画：調査研究推進委員会 助成：一般社団法人尚友倶楽部
定員：1,000名(先着順) 無料、事前申し込み不要

★当日の視聴方法については、開催1週間前にオープンする春季大会特設サイトでご案内いたします
問い合わせ先：公益社団法人日本語教育学会 〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会2F
TEL 03-3262-4291 E-mail: office@nkg.or.jp http://www.nkg.or.jp